

サハリン事務所現地レポート

2017年4月

(件名) 炭火居酒屋「炎」ウラジオストク店がオープン

報告者：主査 梶山 雅生

4月20日 ロシア・ウラジオストク市内にて、札幌市を中心に道内で約30店舗を展開している炭火居酒屋「炎」が新規オープンした。

レセプションパーティでは開店に携わった関連企業の幹部や現地関係者が招待され、札幌で研修を受けたロシア人スタッフが調理した「生つくね」や肉じゃがなどの様々な日本料理が振る舞われた。報道によれば日本の居酒屋チェーンがロシア国内に出店するのは今回が初めてとのこと。

店舗は市内中心地からも近く、漢字で書かれた「炎」の看板が一際目立つ。店内では日本式の接客を学んだロシア人スタッフが「いらっしやいませ」と日本語で招待客を出迎えた。メニューは刺身や焼き鳥、ざんぎ等の揚げ物の他、洋風寿司ロールなどロシア人向けのメニューも多く揃っており、現場にいたロシア人女性客によれば「色々な味のつくねがあって面白く、とても美味しい。本格的な日本の大衆料理が食べられて良いと思う。」とのコメントがあった。運営会社の佐々木社長は「今後はモスクワやハバロフスクにも出店し、日本とロシアの架け橋になりたい。」と熱く語った。

店舗では日本食の提供の他に、北海道産食品（米や調味料など）を展示・販売するコーナーも設置されており「北海道の食の魅力」をアピールしていた。



「炎」エントランス



ロシア人スタッフ



名物の「生つくね」

(件名) サハリンツーリストインフォメーションセンターがオープン

報告者：主査 梶山 雅生

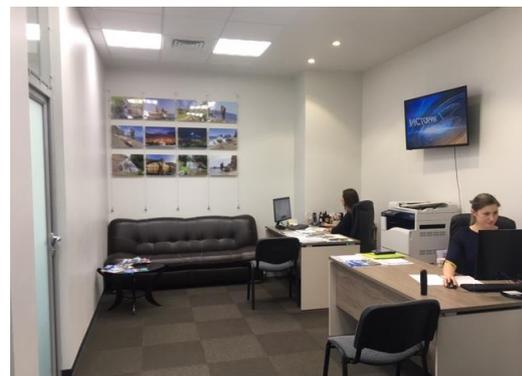
4月中旬 ユジノサハリンスク市の北海道センタービル1階に「サハリンツーリストインフォメーションセンター」が移転オープンした。

当センターはサハリン州政府の直轄組織。観光客誘致の強化を目的に別の場所に昨年11月に設立されていたが今般、外国人観光客との接点をさらに増やすため、日本人を始めとする外国人の訪問が比較的多い北海道センタービルへ移転した。「GO Sakhalin」をキャッチフレーズとしており、サハリンの自然景観やエコツーリズム、アウトドアアクティビティ、食、歴史遺産などの魅力をアピールしている。

当センターでは来訪した観光客から目的やニーズを聴取した上で様々なプランを提案、ホテルや観光地への移動など全ての手配を無料で行っている。またホテルや交通会社と連携していることから、料金支払い等の手続きを当センターで行うことも可能とのこと。現在は英語・ロシア語のみの対応となっているが、今後は日本語・韓国語・中国語など様々な言語での対応が可能となる予定。



エントランスに立つレジンスキー代表



センター内の風景